

総合的な学習の時間の実践

釧路市

総合的な学習
3年

地域の川から環境を考える

あかん川っ子

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

川は魅力的な教材です。それゆえ、子どもたちの興味・関心が揺らがり、収束が難しくなる傾向があります。そこで、子どもたちに川遊びを十分にさせ、その体験からこれからも川をいつまでも守っていこうという意識にさせたいと単元を構成しました。阿寒川を大切にしている地域の方々と連携して、3年生なりに自分たちができることを考え、自らの生き方を問い直していく学習にしました。

学習活動の流れ（40時間）

自分たちの身近にいるお年寄りとの違いを感じることから学習を始めます。

交流では考えてきたことがお年寄りに合っているのか、喜んでもらえるのかについて、施設の職員にアドバイスをもらいました。

最初の訪問で戸惑っていた子どもたちも次第に積極的にかかわりを持つことができました。

1. 阿寒川で思いきり遊ぼう

- ・阿寒川で思いきり遊ぼう（24）
- ・わかったことを交流しよう（4）
- ・阿寒川であそぼう（6）
- ・活動をふりかえろう（8）

2. 阿寒川ガイドツアーをしよう

- ・ガイドツアーを企画しよう（4）
- ・ガイドツアーへ出かけよう（18）

3. 地域の人はどう考えているのかな

- ・地域の人に聞いてみよう（4）
- ・私たちにできること（8）
- ・地域の方々に伝えよう（8）

4. これからの阿寒川

- ・未来の阿寒川をつくろう（12）

北海道の東の港町、釧路での実践です。地域の川を題材に、環境問題、人とかかわりといった学習活動を構成していきます。

地域の人々の思いにふれ、未来を考えることができました。



川に入ってみよう

教材・活動の Point!

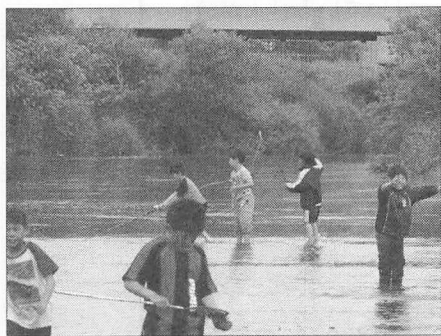


1. 諸感覚を通してかかわることができる素材から

生活科等の豊かな経験を土台にして、子どもたちは、諸感覚を通して対象に進んでかかわり、さまざまな方法を通して情報を収集しようとします。川遊びや魚とり、水生昆虫や動植物の発見、川原の石や植物など、子どもたちの興味・関心は、多岐にわたります。

2. 繰り返しかかわることで、こだわりを生む

近くにあつて身近ではなかった川。そこに繰り返しかかわることによって、一人一人の内面にこだわりが生まれ、「生き物に関すること」「川の水に関すること」といった追究する課題が生まれてきました。



3. 表現し対話することで、考えを深める

地域には、自然豊かな阿寒川を守ろうと様々な活動をしている方がいます。その方々と対話することで、「阿寒川を大切にしたい」という思いを共有することができました。また阿寒川の未来について3年生なりに考え、行動することを通して、地域の一員として阿寒川とどのようにかかわっていくか、考えを深めていったのです。

